



# 2016年3月期 第1四半期 決算説明会

パイオニア株式会社  
代表取締役 兼 社長執行役員  
小谷 進

2015年8月5日

## 発表のポイント

### 1. 2016年3月期 第1四半期 連結決算実績:

- 売上は、ホームAVおよびDJ機器の事業譲渡等により前年同期を下回ったが、円安の効果やカーOEMの増加によりカーエレクトロニクスは増収
- 営業利益は、為替影響はあったが、事業譲渡の影響や地図ビジネスの増益に加え、販売費及び一般管理費の減少などにより、黒字を確保し計画を上回った

### 2. 2016年3月期 連結業績予想:

- 不透明な為替や市場動向を慎重に勘案して、上期、通期の業績予想は据え置く

### 3. トピックス:

- コネクテッド化の取り組み: 自動車保険向けテレマティクスサービス
- 新興国における市販カーオーディオ戦略

## 本日の説明

1. 2016年3月期 第1四半期連結決算
2. 2016年3月期 連結業績予想
3. トピックス

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

---

# 1. 2016年3月期 第1四半期連結決算

---

### 事業ポートフォリオの再編

FY15

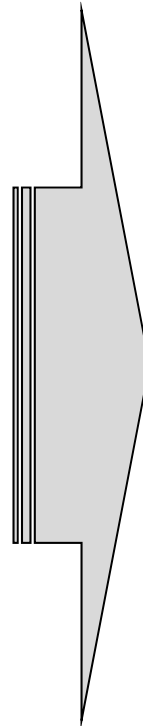
カーエレ	カーオーディオ
	カーナビゲーションシステム
	新規事業(テレマティクス)
ホームエレ	ホームAV、AVアクセサリ、 電話機
	DJ機器
	光ディスクドライブ関連機器
	CATV関連機器
その他	FA機器
	地図ソフト
	新規事業(有機EL照明、医療・ 健康関連)
	その他

FY16

カーエレ	カーオーディオ
	カーナビゲーションシステム
	新規事業(テレマティクス)
その他	FA機器
	地図ソフト
	光ディスクドライブ関連機器
	CATV関連機器
	ホームAV、DJ機器 (生産・販売受託)
	新規事業(有機EL照明、医療・ 健康関連)
	その他

2015年3月  
事業譲渡

事業譲渡先  
からの受託



## 2016年3月期 第1四半期：連結業績概要

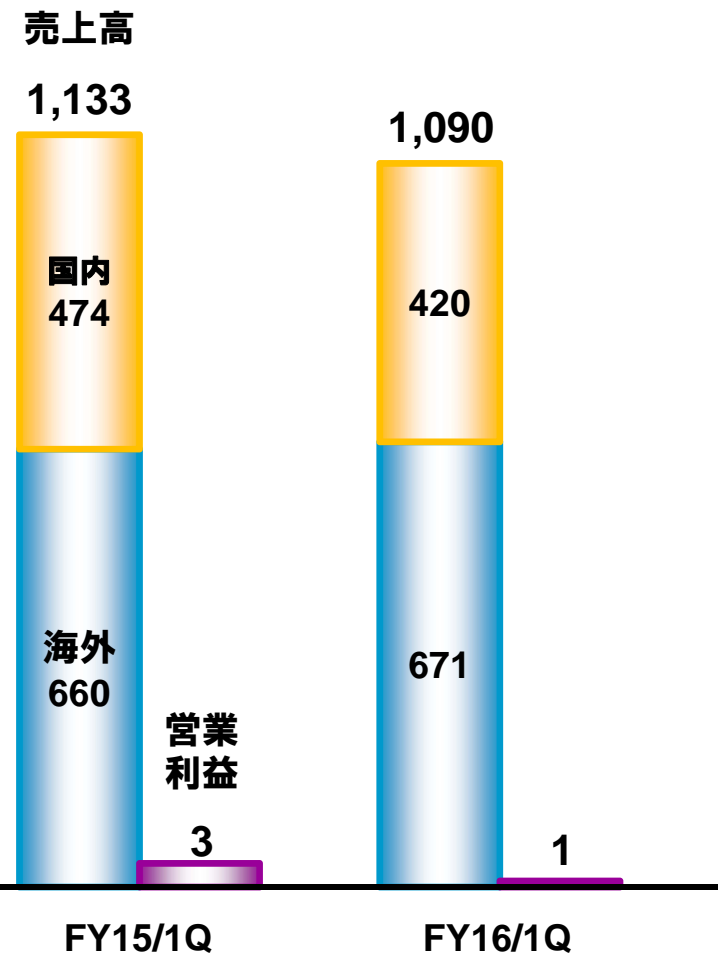
(単位：億円)

	当四半期	前年同期	前年同期比
売上高	1,090	1,133	96.2%
営業利益	1	3	26.0%
経常損益	-6	-3	-
当期純損益*	-25	-21	-

為替平均 レート	1USドル	121.36円	102.16円	+15.8%
	1ユーロ	134.16円	140.07円	-4.4%

1株当たり純損益*	-6.85円	-5.69円	-1.16円
ROE	-9.9%	-11.7%	+1.8%
1株当たり純資産	274.73円	192.43円	+82.30円
ROA	-3.1%	-2.6%	-0.5%

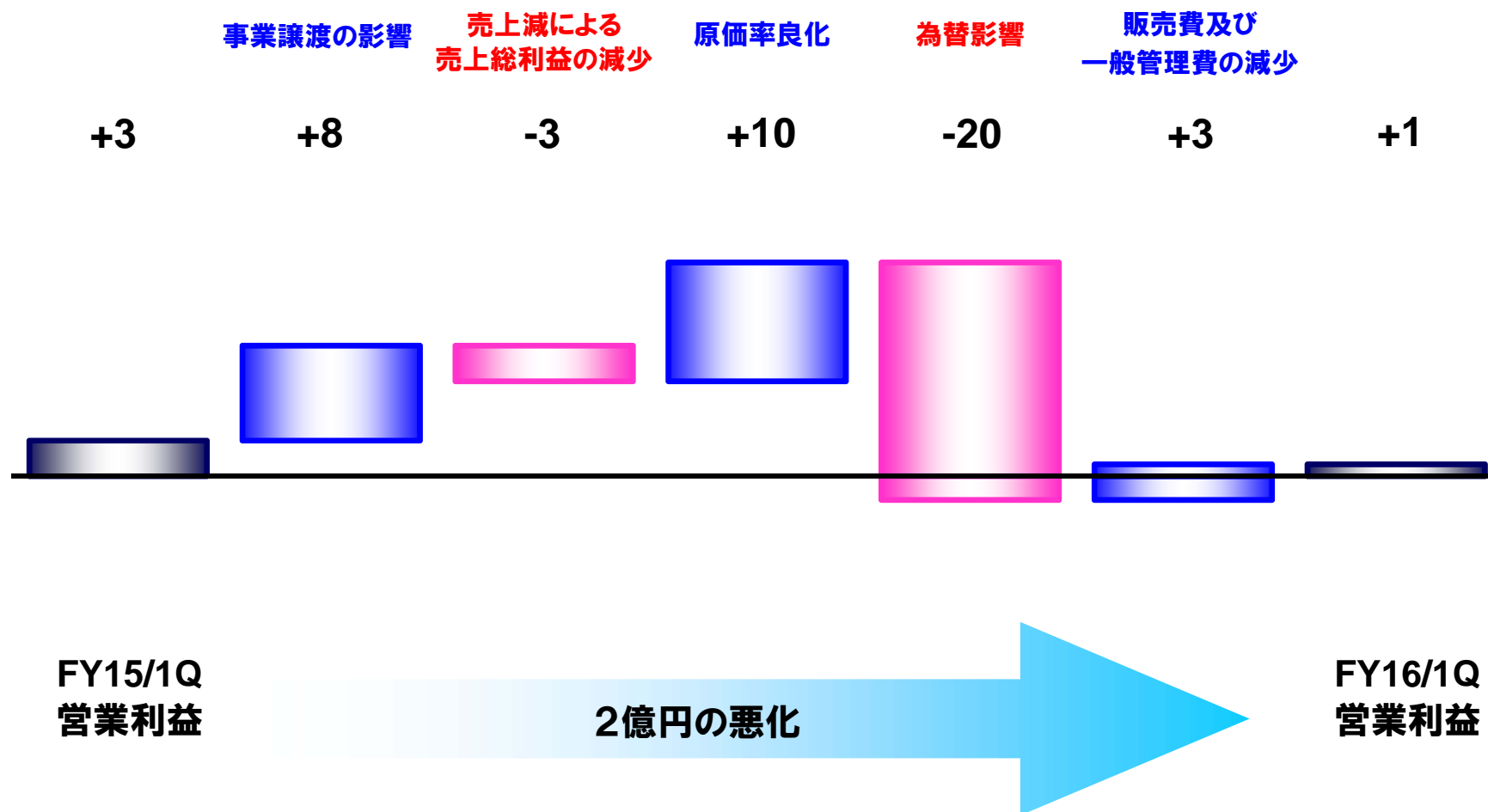
(単位：億円)



\* 親会社株主に帰属する当期純損益

## 2016年3月期 第1四半期： 営業利益増減要因

(単位：億円)



## 2016年3月期 第1四半期：カーエレクトロニクス

(単位:億円)

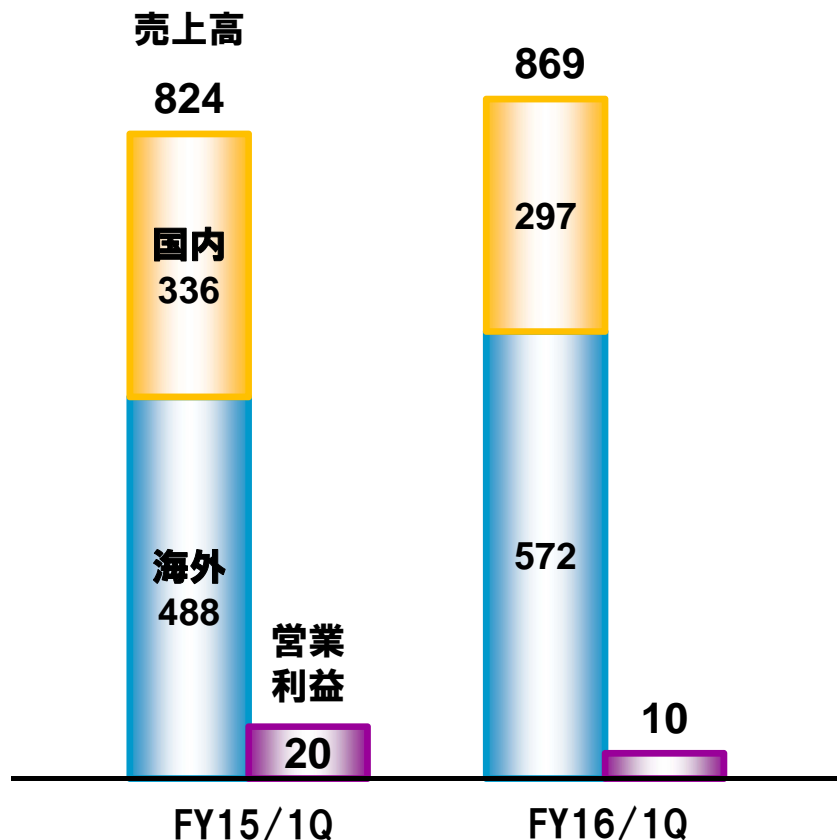
### < 売上高 >

OEM比率 62% (前年同期 56%)

前年同期比	105% (国内 88%、海外 117%)
増収要因	OEMカーオーディオ(CD、AV、スピーカー) OEMカーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーナビゲーションシステム

### < 営業利益 >

前年同期比	10億円の悪化
良化要因	原価率良化(+10億円) 販売費及び一般管理費の減少(+1億円)
悪化要因	為替影響(-18億円) 売上減による売上総利益減少(-3億円)



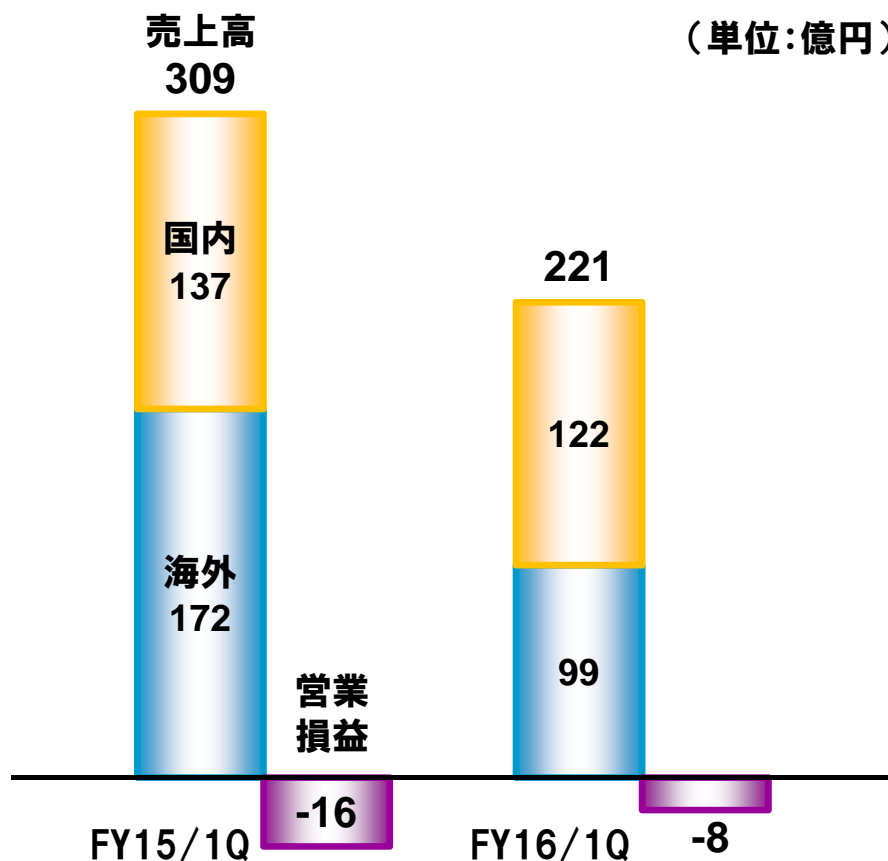
※ 当セグメントに含まれる主要製品:

カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、  
カースピーカー

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。



## 2016年3月期 第1四半期：その他



前年同期比	72% (国内 89%、海外 58%)
増収要因	地図ソフト
減収要因	ホームAV製品、DJ機器

### < 営業損益 >

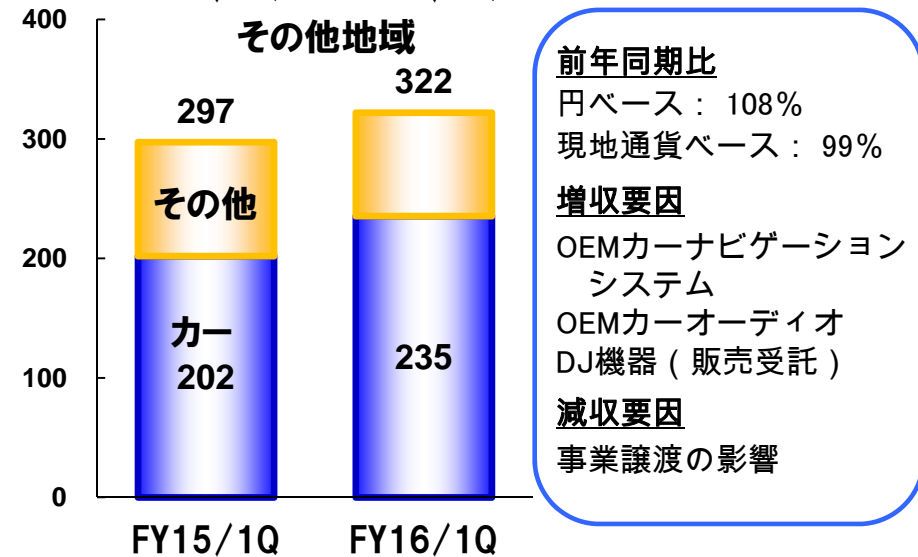
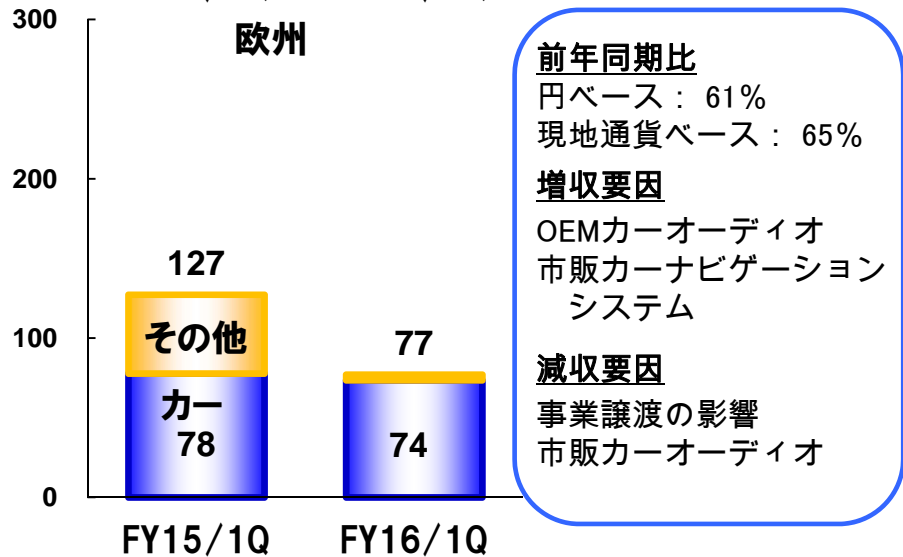
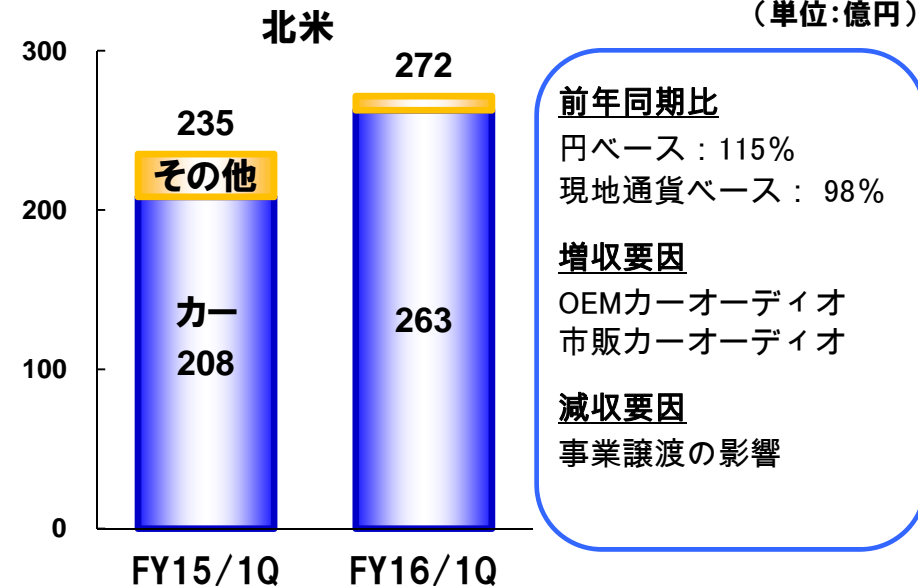
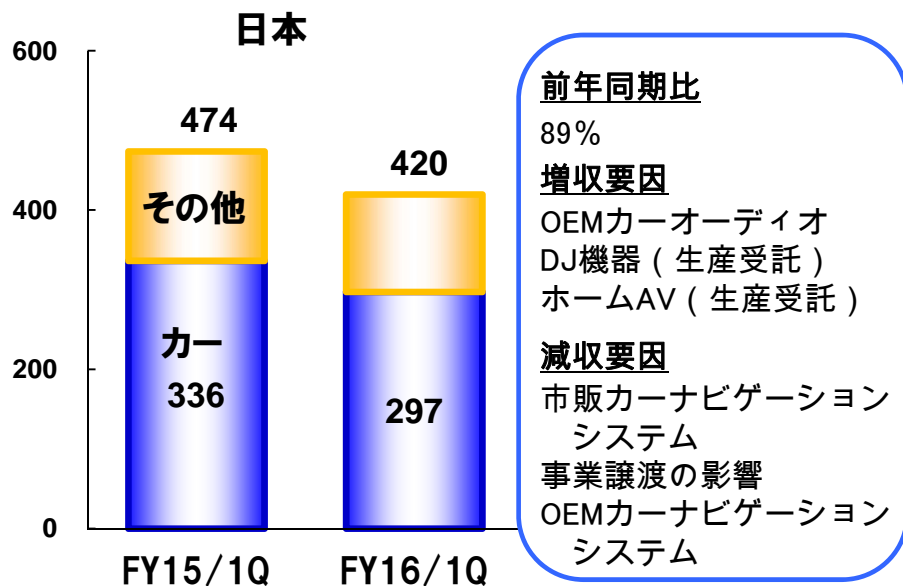
前年同期比	8億円の良化
良化要因	事業譲渡の影響(+8億円) 販売費及び一般管理費の減少(+6億円)
悪化要因	売上減による売上総利益減少(-2億円) 為替影響(-2億円) 原価率悪化(-1億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:  
ブルーレイディスクドライブ、DVDドライブ、CATV関連機器、  
FA機器、地図ソフト、電子部品、スピーカーユニット、  
有機ELディスプレイ、EMS(電子機器受託製造サービス)、  
DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV(生産・販売受託)

注) 1.セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。  
2.FY15の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

## 2016年3月期 第1四半期：地域別売上高

(単位:億円)

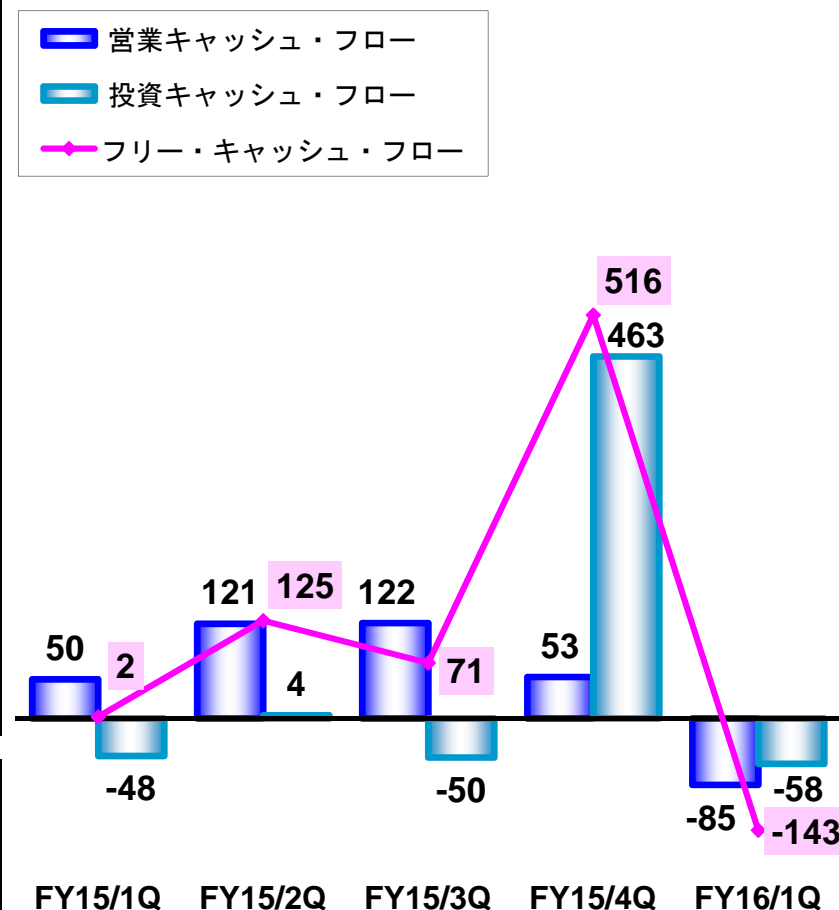


## 2016年3月期 第1四半期： 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

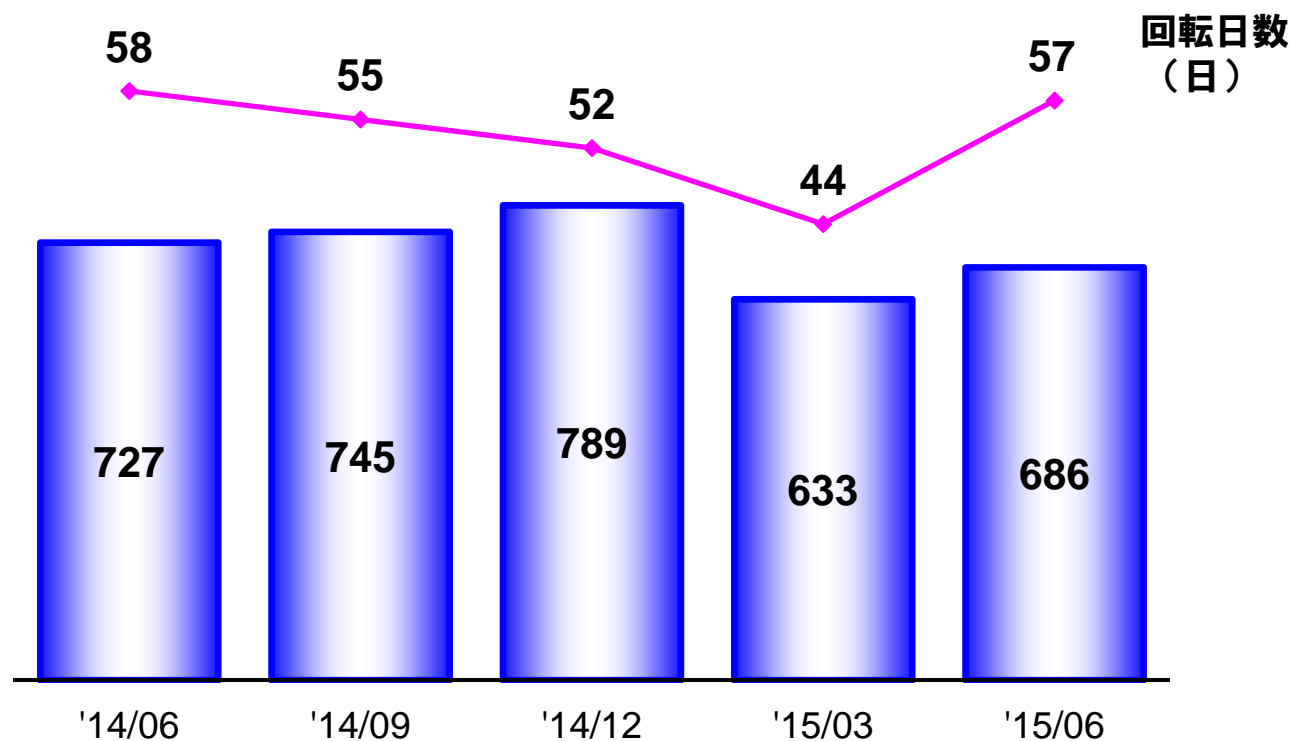
	当四半期	前年同期
税金等調整前当期純損益	-11	-0
減価償却費	69	55
退職給付に係る負債の増減	-4	-3
売上債権の増減	36	85
棚卸資産の増減	-45	-29
仕入債務の増減	-0	2
未払費用の増減	-113	-8
その他	-17	-50
営業キャッシュ・フロー	-85	50
投資キャッシュ・フロー	-58	-48
財務キャッシュ・フロー	-9	-9
現金・現金同等物の換算差額	6	-3
フリー・キャッシュ・フロー	-143	2

現金・現金同等物の増減	-147	-10
現金・現金同等物の残高	370	329
NETキャッシュ残高	28	-539



## 2016年3月期 第1四半期：棚卸資産

(単位：億円)



---

## 2. 2016年3月期連結業績予想

---

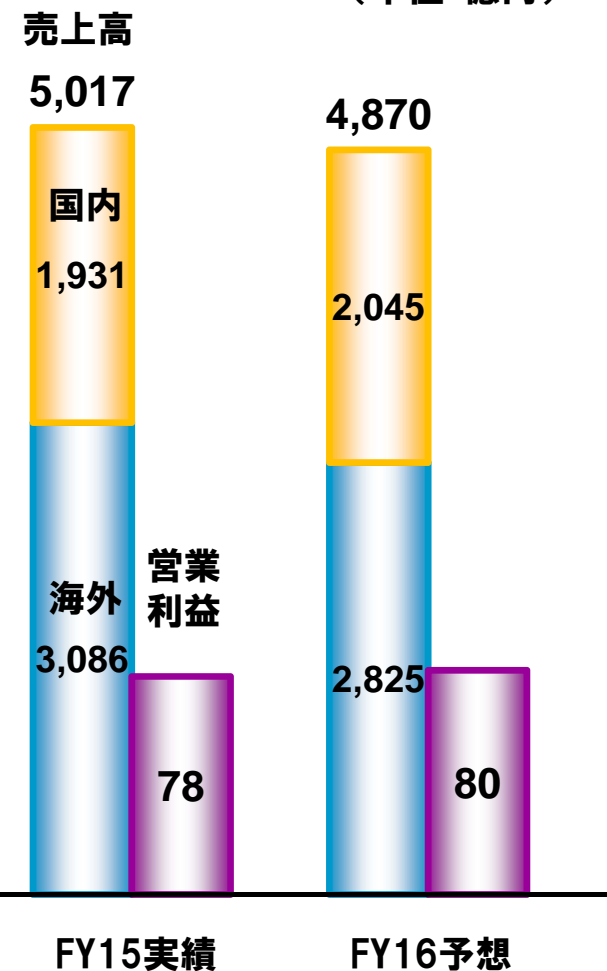
## 2016年3月期：連結業績予想

売上および利益に関する上期・通期予想は、  
 前回発表(5月12日)から、変更ありません。

(単位:億円)

	上期		通期		
	FY16予想	FY15実績	FY16予想	FY15実績	
売上高	2,275	2,359	4,870	5,017	
営業利益	10	34	80	78	
経常損益	0	-14	60	-29	
当期純損益*	-40	-24	10	146	
為替平均 レート	1USDドル	121.68円	103.04円	121.84円	109.93円
	1ユーロ	134.58円	138.92円	134.79円	138.77円
1株当たり純損益*	-10.89円	-6.63円	2.72円	39.85円	
ROE			1.0%	16.8%	
1株当たり純資産			279.67円	277.05円	
ROA			0.3%	4.5%	

(単位:億円)

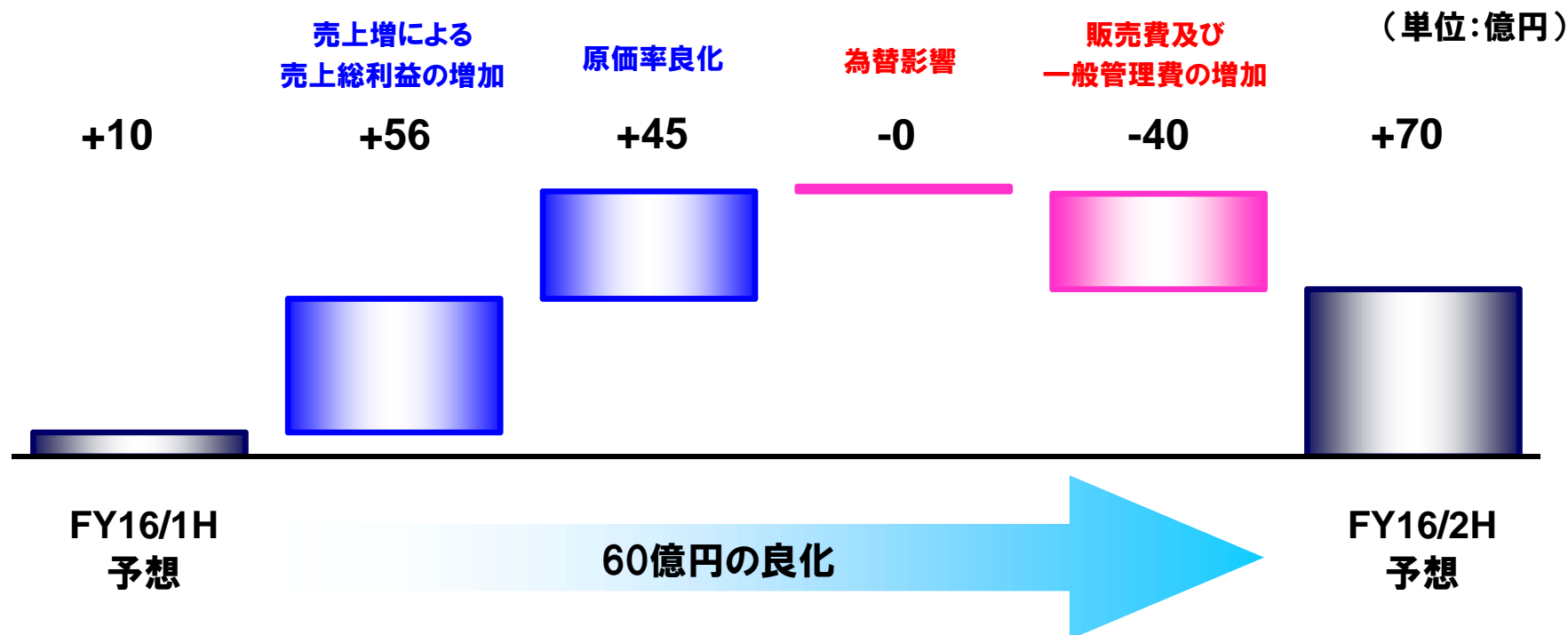


\* 親会社株主に帰属する当期純損益

注) 1. 残り9ヵ月間の予想レートは、1USは122円、1ユーロは135円を前提にしています。

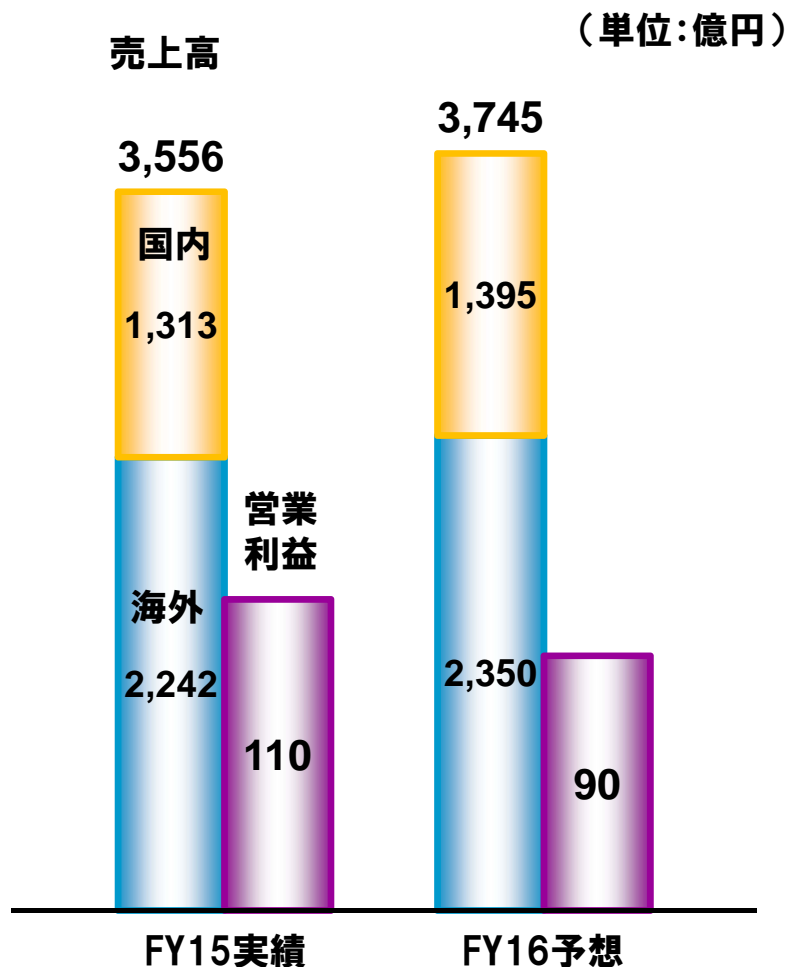
2. 1円の円安インパクト(残り9ヵ月間)は、売上高では、USDは約16.6億円、ユーロは約1.6億円、営業利益では、USDは約▲2.3億円、ユーロは約1.1億円。

## 2016年3月期予想：下期 営業利益（上期との比較）



- カーエレクトロニクスは、市販は、カーオーディオ、カーナビゲーションともに下期に新製品の市場導入が本格化することから、増収を見込む。OEMは、国内向けで増収を見込む。その他は、光ディスクドライブ、FA機器等で増収を見込む
- 減価償却費とカーOEM先行開発費用はやや増加するが、カーエレクトロニクスのコスト削減効果により原価率が良化
- 売上増に伴い、販売費及び一般管理費は増加

## 2016年3月期予想：カーエレクトロニクス



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

### < 売上高 > OEM比率 58% (前期 57%)

前期比	105% (国内 106%、海外 105%)
増収要因	OEMカーオーディオ (CD・AV・スピーカー) OEMカーナビゲーションシステム 市販カーナビゲーションシステム 市販カーオーディオ (CD・AV・スピーカー)
減収要因	特になし

### < 営業利益 >

前期比	20億円の悪化
良化要因	原価率良化 (+39億円) 売上増による売上総利益の増加 (+12億円)
悪化要因	為替影響 (-34億円) OEM先行開発費用の増加 (-20億円) 販売費及び一般管理費の増加 (-17億円)

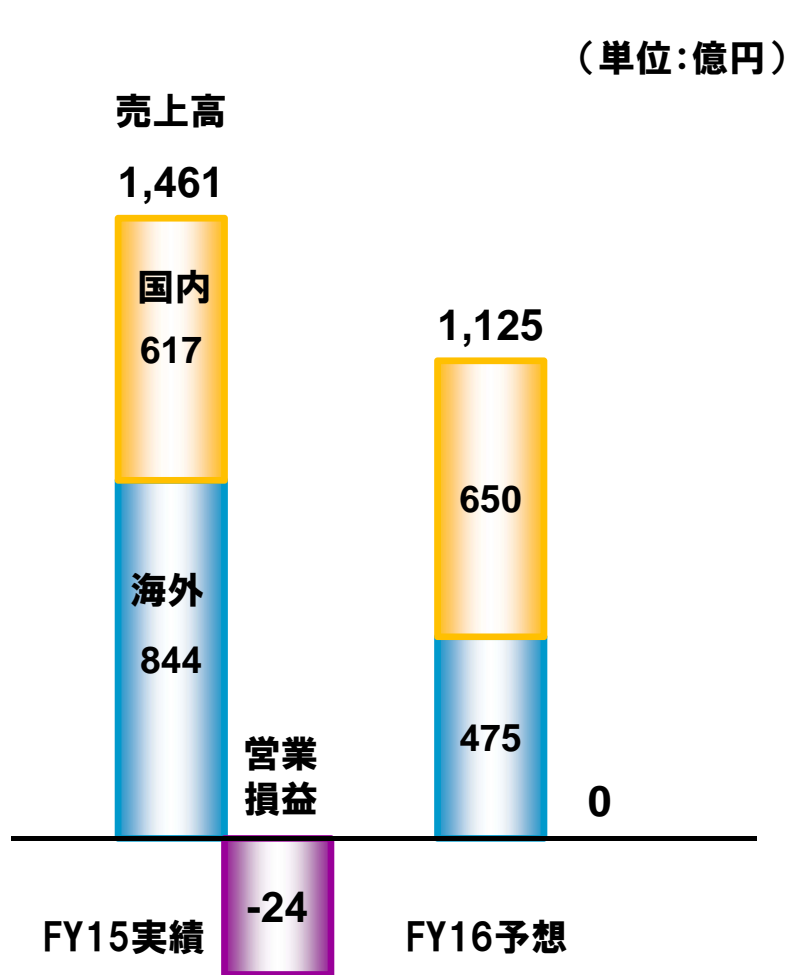
### < 出荷台数 > (単位:千台)

	FY15実績	FY16予想
市販カーナビ	689	710
市販カーCD	7,557	7,230
市販カーAV	1,665	1,760

※ 当セグメントに含まれる主要製品:  
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、  
カースピーカー



## 2016年3月期予想：その他



### < 売上高 >

前期比	77% (国内 105%、海外 56%)
増収要因	DJ機器(生産・販売受託) ホームAV(生産・販売受託) FA機器
減収要因	事業譲渡(ホームAV、DJ機器)

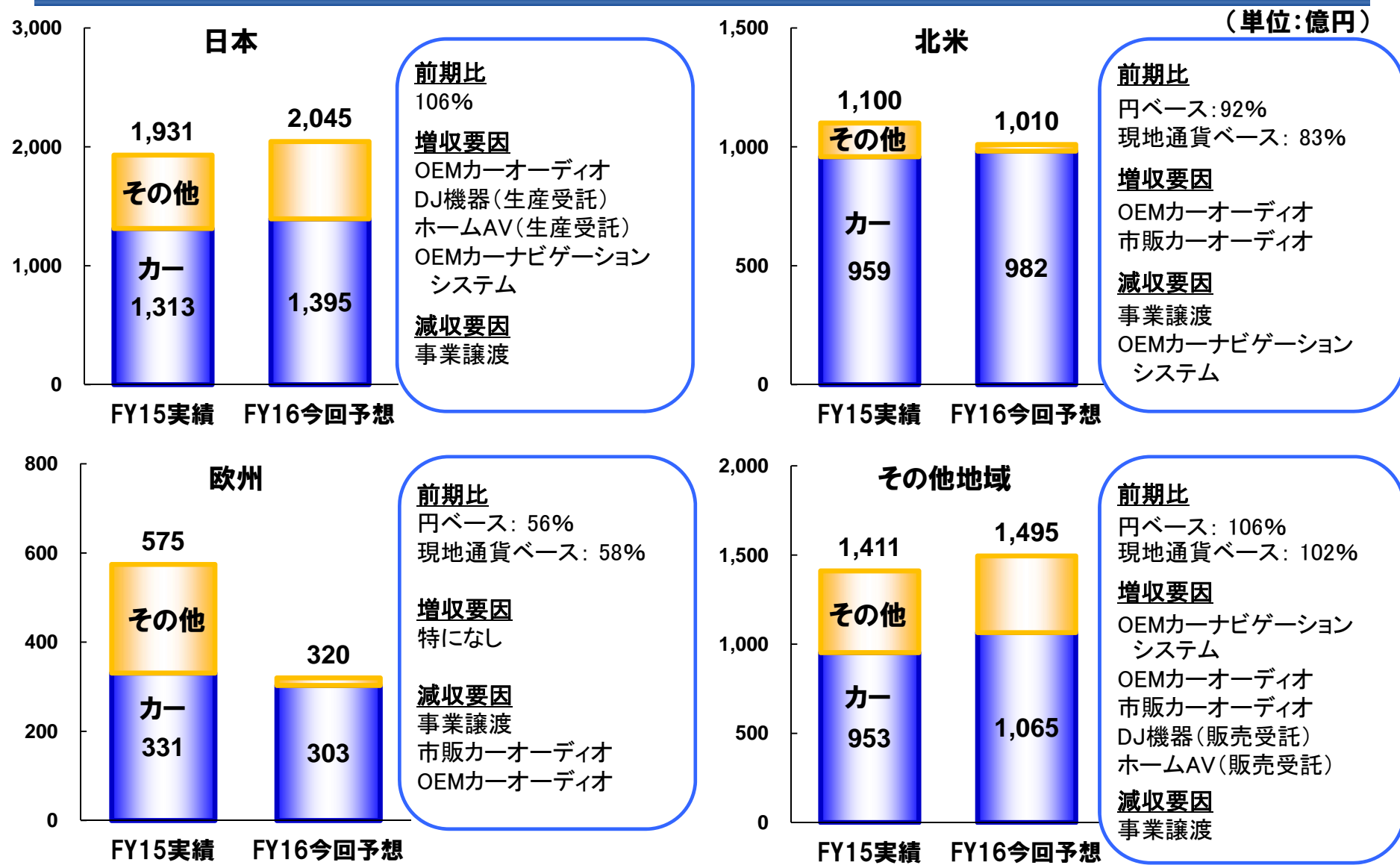
### < 営業損益 >

前期比	24億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+134億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少(-67億円) 原価率悪化(-39億円) 為替影響(-5億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:  
ブルーレイディスクドライブ、DVDドライブ、CATV関連機器、  
FA機器、地図ソフト、電子部品、スピーカーユニット、  
有機ELディスプレイ、EMS(電子機器受託製造サービス)  
DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV(生産・販売受託)

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。  
2. FY15の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

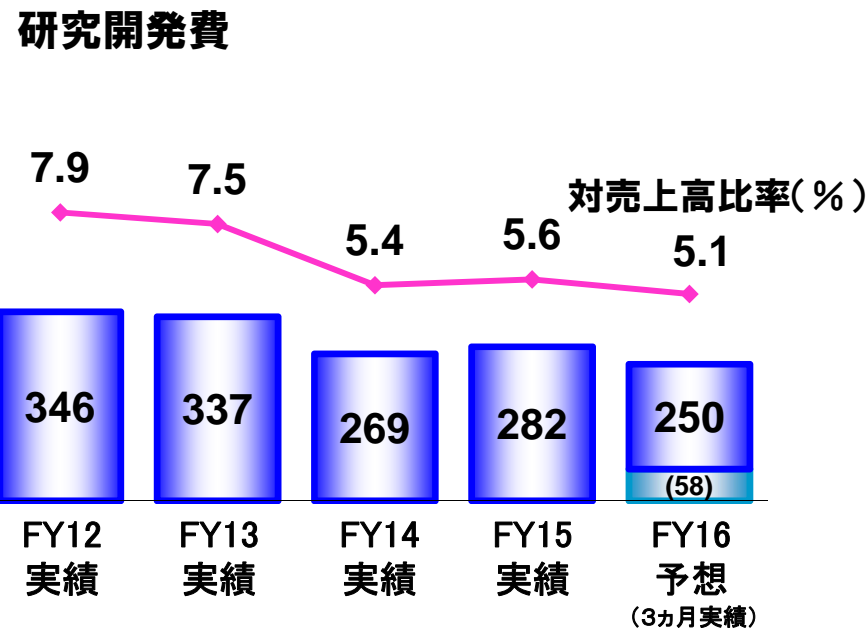
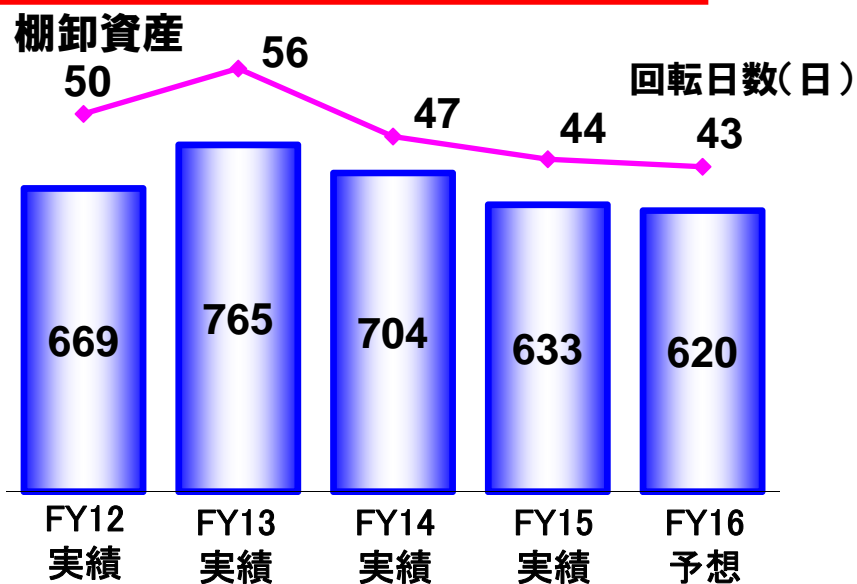
## 2016年3月期予想： 地域別売上高



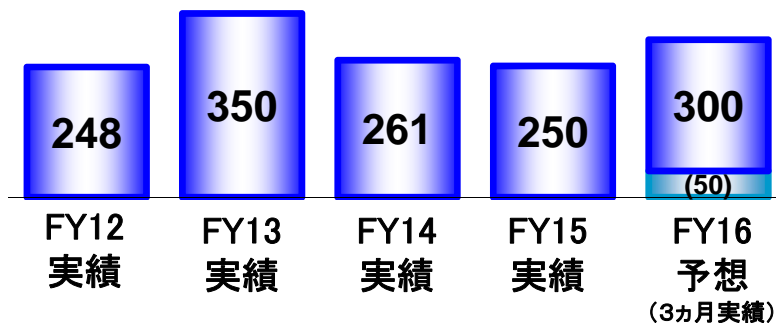
## 2016年3月期予想：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

前回発表(5月12日)から、変更ありません。

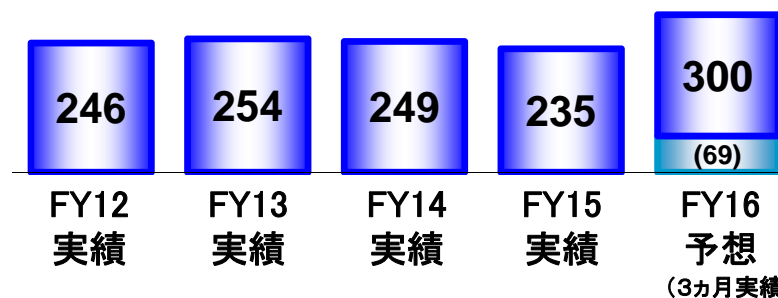
(単位:億円)



### 設備投資



### 減価償却費



## 2016年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位:億円)

	FY14実績	FY15実績	FY16予想
営業キャッシュ・フロー	342	346	230
投資キャッシュ・フロー	-219	369	-300
財務キャッシュ・フロー	-9	-554	-120
フリー・キャッシュ・フロー	124	714	-70

純資産	778	1,071	1,080
自己資本比率	22%	31%	33%
借入金	874	342	230
D/E比率	1.2倍	0.3倍	0.2倍
現金及び預金	354	522	330

注) 1. 「投資キャッシュ・フロー」、「現金及び預金」には、3ヵ月超の定期預金を含んでいます。

2. D/E比率 = 有利子負債 ÷ (純資産 - 非支配株主持分)

---

## 3. トピックス

---

# コネクテッド化の取り組み：自動車保険向けテレマティクスサービス



ミラー型  
テレマティクス端末

自動車向けクラウド基盤  
「モバイルテレマティクスセンター」



ビッグデータ  
運転分析/評価  
地図基盤

安全運転支援



・事故関連データ  
・事故対応ノウハウ



**事故の未然防止**



画像認識・センサーによる  
安全運転支援

**迅速な事故対応**



位置情報、動画確認による  
適切なロードサービス

**安全運転コンサルティング**



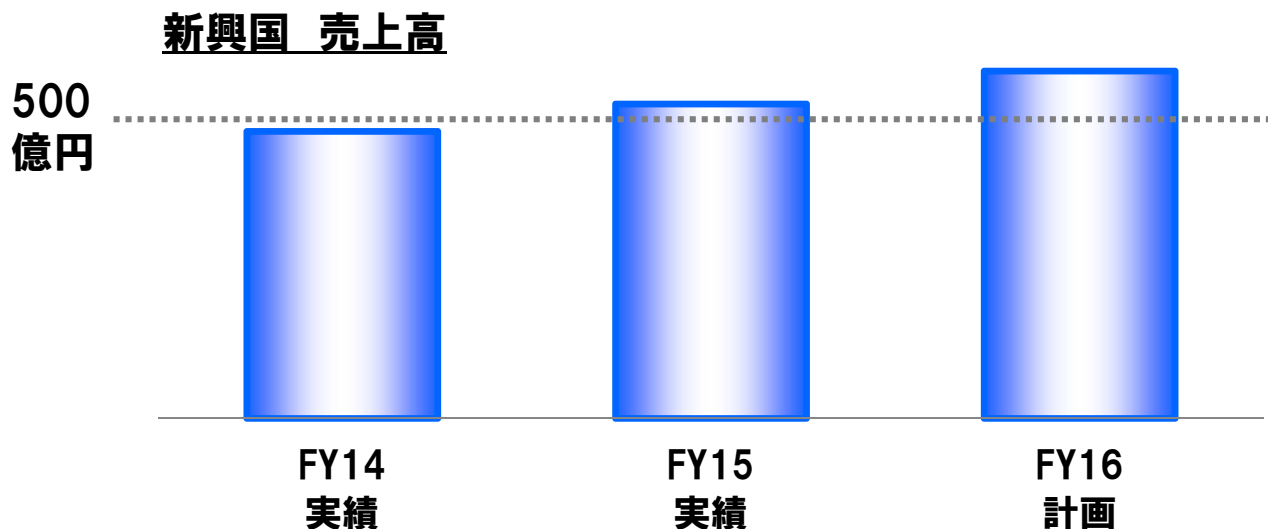
運転性向評価・スコアリング・  
改善指導



お客様に「さらなる安全と安心」を提供

## 新興国市販カーオーディオ 当期計画達成に向けた取り組み

- ▶ 当期も、新興国を中心とする市販カーオーディオで2ケタの営業利益率確保に向けて、商品・販売の両面から活動中

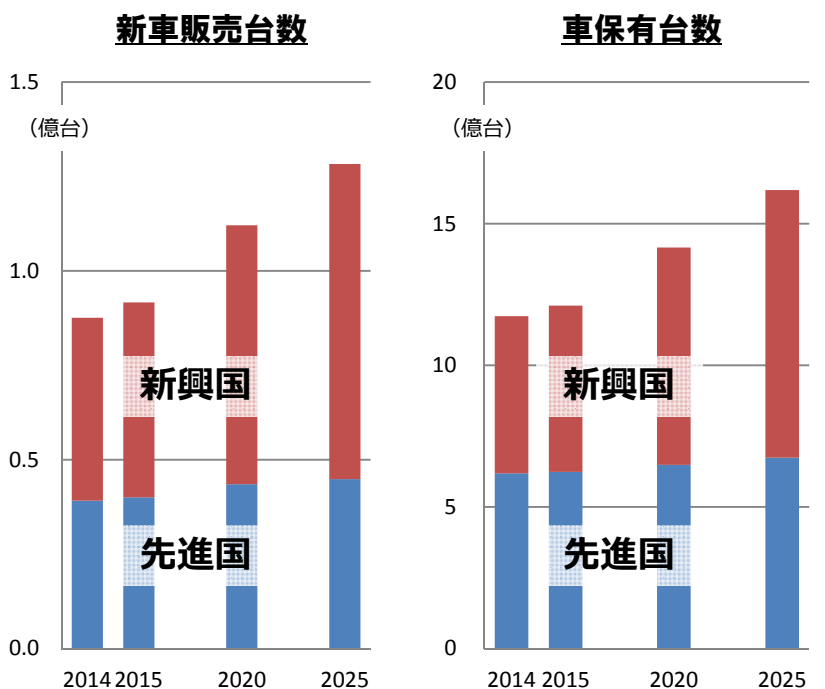


新興国での当期の取り組み			狙い・目標
商品強化	ハイパワーカーオーディオ 新規に市場導入	上期	新提案による市場の活性化
	カーAV 新製品による普及価格帯強化	下期	現地ブランドのシェア奪取
販売強化	インドネシア 販売法人設立、本格稼働	下期	拡大する市場でのポジション確立
	メキシコ 販売チャネルの新規獲得、拡大	通期	売上前期比1.4倍

## 新興国市場におけるカーオーディオの将来予測と当社の取り組み

- 新興国におけるスモールカーの増加により、カーAVを中心に、新興国の市販市場は今後も拡大が継続すると見込む
- 現在の当社事業領域に加え、これから車を購入する『新たな顧客層』に、地域特性に特化した商品の準備を開始

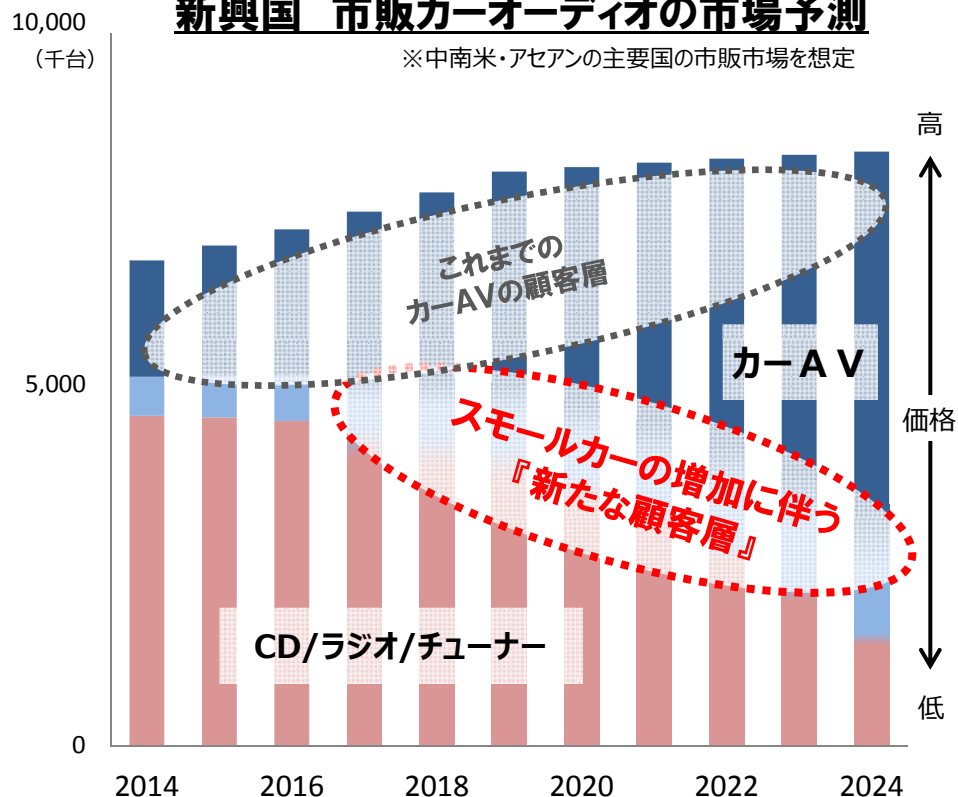
【参考】自動車 台数予測



出所：FOURIN世界自動車統計年刊2014

### 新興国 市販カーオーディオの市場予測

※中南米・アセアンの主要国の市販市場を想定



出所：市場データに基づく当社予測



*Pioneer*